

## 目 次

---

第3版はしがき

初版はしがき

### 第 I 部 法の成り立ちを学ぶ

#### 第 1 講 法の世界へようこそ

- I 法って何? .....003
- II 法学者はアナ雪が嫌い?! .....004
  - 1 「法」の意味と役割 .....004
  - 2 法の分類 .....006
    - 関係性による分類／役割による分類／形式による分類
- III 法を学んで頭脳明晰! .....011
  - 1 法的思考力の養成 .....012
    - カルネアデスの板／常識とバランス感覚
  - 2 社会科学的思考力の養成 .....015

#### 第 2 講 法の実現は裁判で——訴訟手続

- I ウルトラマンは問題児：裁判の意義 .....019
  - 1 裁判制度の必要性 .....019
  - 2 民事訴訟 .....021
  - 3 刑事訴訟 .....023
    - 刑事事件における登場人物／捜査／公判
- II 裁判官も木から落ちる? .....029
  - 1 裁判所の種類 .....029

2	三審制	029
3	裁判の結果	031

### 第3講 裁判に関わる人々

I	餅は餅屋？	034
1	裁判官	034
2	検察官	035
3	弁護士	036
4	その他の法律家	037
5	裁判所書記官	037
II	12人の怒れる男：裁判員制度	038
1	裁判員の選び方	039
2	裁判員の仕事	039
3	裁判員制度の問題点	039

### 第4講 条文を読んでみよう

I	酢こんふはおやつか？	042
1	はじめに定義ありき	042
2	条文解釈の方法	043
	刑法と類推解釈の禁止	
II	ゆいごん残すも遺言とならず？	047
1	条文の構造	049
2	法律の制定・公布・施行	051

## 第II部 様々な法を学ぶ

### 第5講 憲法はサイコー——憲法その1

I	近代憲法にワシントンもビックリ？	055
1	憲法の起こり	055
	中世ヨーロッパにおける憲法／近代国家における憲法	
2	憲法の特徴	057
3	日本国憲法の基本原理	058
	基本的人権の尊重／国民主権と象徴天皇制／平和主義	

II	自由もいろいろ：人権の分類	061
1	自由権	062
2	参政権	062
3	社会権	062
<b>第6講 権利のカタログ——憲法その2</b>		
I	通販カタログより見やすい？：人権のカタログ	065
1	基本的人権の分類	065
2	憲法13条と新しい人権	066
3	法の下の平等	068
II	個別の人権を学ぼう	071
1	思想・良心の自由（憲19条）	071
2	表現の自由（憲21条）	072
	知る権利／情報公開請求権／表現の自由をめぐるその他の問題	
3	教育を受ける権利（憲26条）	077
<b>第7講 統治のしくみ——憲法その3</b>		
I	疑う者は救われる？！	080
II	ライバルだけど良い仲間	081
1	国会	082
	唯一の立法機関／政党／二院制	
2	内閣	086
III	がんばれ裁判所	088
1	司法権の独立	088
2	司法権の意味	090
3	違憲審査制	091
	付随的違憲審査制と抽象的違憲審査制／条約と違憲審査制	
<b>第8講 犯罪が起きたら——刑法その1</b>		
I	罪と罰	096
1	罪刑法定主義	096
2	刑法の役割と犯罪の種類	097
II	フローチャートで犯罪成立	100
1	構成要件該当性	101
	客体／実行行為／因果関係	

2 違法性	105
違法性阻却事由／違法性の本質	

## 第9講 悪いことをしても罰せられない?—刑法その2

I ああ無情：有責性	111
責任能力／故意・過失／違法性の意識／期待可能性	
II 犬か鹿か?：錯誤論	117
1 具体的事実の錯誤	119
2 抽象的事実の錯誤	120
3 違法性の錯誤	122

## 第10講 罰するということ—刑法その3

I 黒幕のスター達：共犯	124
1 正犯と共犯	124
2 間接正犯	126
3 共同正犯	127
4 共謀共同正犯	128
5 正犯と教唆犯	129
共犯従属性説と共犯独立性説／要素従属性の問題	
6 従犯	130
II クールヘッドとウォームハート：犯罪論と刑罰論	132
1 刑罰の種類	132
2 刑罰論	133
3 死刑をめぐる問題	135

## 第11講 私達の生活ルール—民法その1

I 民法と因数分解	138
II わらしべ長者の契約	140
1 契約から生じる債権と債務	140
2 契約の分類	142
有償契約・無償契約／双務契約・片務契約／分類の意味／諾成契約・要式契約・要物契約／典型契約・非典型契約	
III 契 <small>ちぎ</small> り	148
1 契約の拘束力	148
2 契約の成立時期	150

## 第12講 契約って？——民法その2

I	勘違いはいけどウソはダメ！：意思表示の問題点	152
1	効果意思の不存在 心裡留保／虚偽表示	152
2	意思表示の瑕疵 錯誤／詐欺による意思表示／強迫による意思表示	154
II	契約よ安らかに：債権・債務の消滅	157
1	弁済	158
2	代物弁済	159
3	更改	159
4	免除	160
5	供託	160
6	混同	160
7	相殺	160
III	どうしてくれるんだ！：損害賠償請求	161
1	債務不履行 債務不履行の3類型／解除	161
2	契約に基づかない債権・債務 不法行為／事務管理／不当利得	164

## 第13講 所有するって？——民法その3

I	売買は賃貸借を破る！：物権の性質	170
1	物権と債権	170
2	物権法定主義	171
3	一物一権主義	172
4	物権の種類 所有権／制限物権	173
5	物権の変動：意思主義と形式主義	174
6	所有権の取得原因 特定承継と包括承継／承継取得と原始取得	176
II	タンポと湯たんぽ：担保物権	178
1	人的担保	179
2	物的担保 担保物権の種類／質権／抵当権／法定担保物権	180

## 第14講 契約するのは誰? —民法その4

I 能力なしとは失礼な!	185
1 権利能力と行為能力	185
2 法人	186
法人の種類/法人の権利能力の範囲	
3 行為能力	187
未成年者/成年被後見人/被保佐人/被補助人/任意後見制度	
II できる人にまかせちゃえ:代理	190
1 代理の意味	190
2 代理の要件	191
代理権の授与/頭名/代理人の権限内での行為	
3 自己契約・双方代理	192
4 無権代理	194
5 表見代理	195

## 第15講 家族に関わる法 —民法その5

I ナウな家族法で救えるか?!	199
1 親族関係	199
2 婚姻と離婚	201
婚姻の要件/婚姻の効果/離婚	
3 親子	203
4 相続	204
法定相続人/相続財産の範囲/法定相続分/所有者不明土地・所有者不明建物/遺留分	
II Last but Not Least:民法の基本原則と修正	210
1 民法の基本原則	210
権利能力平等の原則/私的自治の原則/過失責任の原則/所有権絶対の原則	
2 民法1条	211

事項索引